

県広報

とやま

特集／今年を飾る3大イベント
トピックス／一日部長・一日庁議



1

1994 No.300

左義長

高岡市立中央図書館長

太田 久夫

小正月の一月十四・十五日に、左義長と言
つて、宮の境内や田畑の広い場所、大きな
火を焚く祭りが行われます。これは、竹また
は木の頭部を結んで三脚にし、裾を円錐形に
広げた形から三稜杖（左義長）とも言います。
そのうちの一本を、ひときわ高く空に突き抜
けて立てます。本県では、別に真ん中に七
八メートルの竹（木）を立てることもあるよう
ですが、これは歳神の昇降用だといわれてい
ます。

左義長のことは、地方によって、トンド・
ドンドンヤキ・サイトヤキ・サギチヨヤキ・
サンゲチヨなどと言うふう、いろいろに呼
ばれています。地区によって異なりますが、
小学校高学年から中学生が、左義長の行われ
る前日に、青竹や豆がら・門松・わらを集め
てきて、左義長に積み重ねます。左義長を作
るときには、大人が手助けすることもありま
す。

火を付けるとき、細入村猪谷では、子供た
ちが「ドンドンサンドン もちのかけないか」
と大声で唱い、庄川町では「左義長やおちよ
うやまだ夜が明けんか 今焼くや 早焼くや」
と囃すそうです。
いよいよ火が付けられると、燃え盛る炎の

中で、バンバンと竹のはじける大きな音がし
ます。この火で書き初めを燃やし、燃える紙
灰が空高く舞い上がりますと、字が上手にな
ると言われて喜びます。また、火にあたる若
返るとか、丈夫になるとか言いますし、真ん
中に立てた竹（木）の倒れる方角や火勢・焰色、
竹のはじける音などを見たり聞いたりして、
その年の豊凶を占うとも言われています。氷
見では、竹が東側に倒れたら豊年だと言っ
ています。このほか、餅を焼いて食べると、風
邪をひかないとか、病気になるいとも言
います。

これらの言い伝えは、左義長の火が神聖な
もので、大きな霊力があると考えられてきた
からだと思います。

この左義長の行事は、昔は県内でもかなり
広範囲で行われていました。しかし燃やすも
のが無駄だとか、火の用心のうえから危険だ
とか言われて、左義長を行うところも次第に少
なくなってきました。また、第二次大戦中に
休止し、そのままになってしまったところも
あるようです。

左義長の風習は、地区によって若干違ふと
ころもあるようですが、この伝統行事をいつ
までも守り続けたいものです。



年・頭・の・辞

新しい年を 迎えて

富山県知事 中沖 豊



明けましておめでとございませう。

輝かしい一九九四年の新春を県民の皆様ととも
に寿ぎたいと思います。

今日、国内外とも「激動と混迷」の時代を迎え
ておりますが、このような先行きの不透明な時代
を切り拓いていくためには、何よりも、明確なビ
ジョンを持つこと、そしてこれを着実に実行する
ことが極めて重要であります。

富山県は今、新しい県民総合計画に基づき、二
十一世紀に向けて、すばらしい人材が育ち、集う
ような創造性あふれる「人材立県」、優れた生活環
境のもと、健康や福祉に恵まれ幸せに生きる「生
活立県」、世界に開かれ貢献する「国際立県」の三
つの目標を掲げ、全国に誇ることができるすばら

しいふるさとづくりを進めております。

経済企画庁の平成五年版新生活指標により
ますと、富山県は、「住む」分野で全国第一位、「働
く」分野で第二位、「学ぶ」分野で第三位、そして、
「遊ぶ」分野で第一位であります。富山県は、今や
県民の皆様の積極的なご尽力により、豊かさや暮
らしやすさにおいて、全国でもトップレベルの評
価を受け、さらに、新しい時代に向かって着実な
歩みを進めております。

とりわけいま環日本海時代を迎えておりますが、
日本海国土軸の形成に努めるとともに、環日本海
交流の中核拠点をめざし対岸諸国との友好交流を
一層深めてまいりたいと思っております。

また、北陸新幹線につきましては、石動・金沢

間に続き、糸魚川・魚津間が本格着工いたしまし
たが、全線整備に向けて引き続き努力するととも
に、北陸自動車道、東海北陸自動車道、能越自動
車道、富山空港、伏木富山港の整備促進など、総
合的な交通体系の整備を進めてまいります。

さらに、県立中央病院、とやま健康村、総合福
祉会館、女性総合センター、勤労者総合福祉セン
ターの整備など、県民の健康・福祉・生活に関す
る各種の重要施策を推進してまいります。

特に、現在の厳しい経済情勢におきましては、
国・県・市町村、関係団体等が一致協力して景気
対策に取り組むことが重要であり、県としまして
も、公共事業の拡大や中小企業への金融対策など、
地域経済の活性化に積極的に取り組んでまいりま
す。

本年は、全国高等学校総合体育大会（インター
ハイ）や全国生涯学習フェスティバル、さらに技
能五輪全国大会などが開催され、富山県のイメー
ジアップを図る絶好の機会であります。県民の皆
様の一層のご支援、ご協力を心からお願ひ申しあ
げます。

今年、戊午。「犬馬は難し」という言葉があり
ます。誰もが知っている犬や馬をうまく描くこと
は容易ではない、平凡な日常の仕事をしっかりと
こなすことが一番むづかしく尊いものだ、という
意味であります。新しい時代にふさわしい果
つくりを着実に進め、二十一世紀に向けて富山県が
さらに飛躍しますよう願ってやみません。県民の
皆様の積極的なご協力を切にお願い申し上げます
とともに、皆様のご健康、ご多幸を心からお祈り
申しあげまして、新年のあいさついたします。

今年を飾る 3大イベント

いよいよ新しい年がスタートしました。今年、富山県では、インターハイ、まなびピアとやま'94、技能五輪全国大会など、大きなイベントが目白押しです。県ではスポーツ振興に、生涯学習の推進に、そして技能者育成に実りのある年とするため現在、大会の成功に向けての準備を進めています。今回は、それぞれの大会の概要と参加に向けて活動している三名の方を紹介します。

立山にえがけ 大きく君の青春

平成6年度全国高等学校
総合体育大会夏季大会

平成6年7月31日～8月24日

高等学校における最大のスポーツの祭典であるインターハイ。次代を担う高校生の体力の向上と豊かな人間性を培う場としてこれまで大きな成果を収めてきました。本県開催にあたっては、高校生の熱意と創意を結集して心のこもった爽りのある大会になるように努め、新しい時代にふさわしい魅力ある県づくりの契機にしたいと考えています。

高志のくにから ひろがる学び

第6回
全国生涯学習フェスティバル
「まなびピアとやま'94」

平成6年10月6日～10日

全国生涯学習フェスティバルは、文部省、都道府県、市町村、関係団体が共催する生涯学習に関する全国的な祭典です。今年開催される「まなびピアとやま'94」では、できるだけ多くの方の参加を得られるように富山市、高岡市、黒部市、砺波市、小杉町の五市町を会場としました。一人ひとりが主役になって生涯学習に親しみ、体験を深める機会となる当大会では、県内外から三十

ぶっつけいっしょ 君の青春

第32回技能五輪全国大会
(富山大会)

平成6年11月4日～7日



近年、若者の間で技能を敬遠する傾向があり、技能労働者不足が深刻な問題となってきました。この大会は、青年技能者に努力目標を与え、産業界の技能水準や技能尊重の気運を高めることを目的に毎年首都圏で開催されてきましたが、平成六年度からは国の方針を受けて隔年で各都道府県持ち回りとなります。本県での開催は、全国初の地方開催となるもので、富山県技術専門学院(富山市)ほか五会場で実施することになっています。

正式競技種目は27種類

正式種目としては次の二十七種目が挙げられます(図)。また富山らしさを十分に盛り込んだ大会とするため、オープン競技として本県の主要産業であるアルミサッシ施工競技を、またデモンストラーションとして木彫刻競技を実施する予定にしています。

この全国大会への出場資格は、開催年に満二十歳以下で、かつ地方予選大会で優秀な成績を収めた方に与えられます。

県内予選は今年の一月から各職種の技能検定と同時に順次行われていきます。

〈競技種目〉

- 旋盤、フライス盤、機械製図、機械組立て、CNCマシンニング、抜き型、精密機械組立て、木型、構造物鉄工、電気溶接、自動車板金、曲げ板金、配管、建築大工、家具、建具、左官、タイル張り、石工、広告美術、電気、工場電気設備、電子機器組立て、洋裁、自動車工、貴金属装身具、調理



大会施設が続々完成

夏季大会では二十七競技種目が二十七市町村で行われます。昨年は、総合開会式のメイン会場となる県総合運動公園陸上競技場をはじめ、県漕艇場や、小杉町総合体育センター、庄川町民体育センターなどが相次いで完成しました。今年も県営高岡プール(仮称)が三月に、小矢部ホッケー場(仮称)が五月に、朝日町文化体育センターが七月にそれぞれ完成予定になっているなど着々と大会に向けての整備が進められています。



万人以上の参加をめざしています。

「持ち寄り型」の祭典

この大会は、参加団体が自由に催し物を企画・運営する「持ち寄り型」の祭典です。生涯学習に関する活動の紹介や展示を行う生涯学習見本市、郷土芸能などを発表する体験広場など、約二百のさまざまな催しが展開されることになっています。現在、県内各地から参加希望に関する問い合わせ、仮申し込みが相次いでおり、その内容は、各種講演会、体験セミナー、展覧会など盛りだくさん。皆さんの生涯学習への熱意が確実に伝わってきています。



「記録は、そのときの心の持ちようで大きく変わるんですね。自分でも気持ちがあつていっているのがわかりました。」と笑顔で話す龍谷富山高校一年の川井未央さん。昨年十月に国立陸上競技場で行われたジュニアオリンピック走り高跳びB競技で全国の中学三年生から高校一年生までが集うなか、大会記録でもある一m七三cmを見事クリアし優勝に輝きました。中学三年のときはわずか一cmの差で出場できなかった大会だけに感激もひとしおです。

個人競技での記録との戦いはすなわち自分自身の戦いでもあります。中学三年の夏から約一年間は記録が伸び悩んだそうですが、「好きで始めたことなので苦しいと思ったことはなかったですね」という屈託のなさが今回自己記録を一挙に七cm更新した原動力となりました。

元陸上選手であった父親の昔の新聞記事の切り抜きを見ているうちに自分も始めてみようと思つたのがきっかけとなり中学の時から走り高跳びに取り組んだ川井さん。現在は、走り高跳びの専門練習は特に行っていないということで、顧問の先生の指導を受けながら、来たるべき日に備えて地道な筋力トレーニングに汗を流しています。「インターハイにはぜひ出場して上位をめざしたいですね。最終的には高校記録の一m八二cmを上回る一m八五cmを跳んでみたいんです。」身長一七六cmの恵まれた体と天性のバネを持ち合わせた川井さん。夏の夜空に向けて羽ばたいた時を待ち焦がれています。

高校生による一人一役運動

選手だけでなく、全ての高校生が何らかの形で大会に参加していきけるように現在県下で展開されている「一人一役」運動。総合開会式の公開演技（吹奏楽、合唱、マ스ゲーム、放送等）や装飾用の草花づくりなどの活動が全高校生により活発に進められています。

インターハイに向けて

川井未央さん



「記録は、そのときの心の持ちようで大きく変わるんですね。自分でも気持ちがあつていっているのがわかりました。」と笑顔で話す龍谷富山高校一年の川井未央さん。昨年十月に国立陸上競技場で行われたジュニアオリンピック走り高跳びB競技で全国の中学三年生から高校一年生までが集うなか、大会記録でもある一m七三cmを見事クリアし優勝に輝きました。中学三年のときはわずか一cmの差で出場できなかった大会だけに感激もひとしおです。

個人競技での記録との戦いはすなわち自分自身の戦いでもあります。中学三年の夏から約一年間は記録が伸び悩んだそうですが、「好きで始めたことな

マスケットマーク「マナビイ」

漫画家・石ノ森章太郎氏デザインで誕生した生涯学習のマスケットマーク「マナビイ」。フェスティバルまでせっせと県内を飛び回りますのでどうぞよろしくお願ひします。

まナビピアとやま '94に向けて

和田朝子さん



まナビピアとやま'94の開催会場の一つであり、毎年住民参加の芸能祭を開催している小杉町。和田朝子舞踏研究所では、これまで町をあげてのイベントに積極的に参加し、町の文化振興に大いに貢献してきました。まナビピアとやまでは、他の分野の団体と共同で手作りの催し物を演出することになっています。自分のやってきたことを発表する場があるというのは大変すてきなことです。特に県内で開催される全国的な大会ですので他の団体とも交流を深め、お互



いの長所を取り入れることができるような機会になればと思つています。和田さんがこの町に創作バレエの稽古場を開いてから二十五年。戦後の荒廃したなかで見た可西舞踏研究所のひとときわ美しい舞踊との出会いがその後の人生を決めるきっかけとなったそうです。自ら勉強する気持ちで地道に活動が続けてきたことが地元の方にも少しずつ認められ、最初は三人しかいなかった研究生も現在では三歳児から成人まで約百七十人の幅広い年齢層に広がりました。「生涯を通じて仕事以外に何か打ち込めるものを見つけた人はとても幸せだと思います。一所懸命取り組んだ成果を多くの方に見てもらふことで伝えることの喜びと新しい自分の発見につながるんですから」ある発表会で民謡を披露することになっていたおはあさんが、緊張でガチガチだったため、思わず声をかけたという和田さん。無事終わったときに思わずおはあさんの口から出た「よかったー」という一言が今だに忘れられないそうです。

富山県大会の特色

日本海側で初めての開催となる本大会には、中国など対岸諸国からも選手を招へいする予定であり、環日本海交流における技術・技能面での人材育成の場として大きな役割が期待されています。また全国からの参加者と交流パーティを実施するなど富山を知っていただく企画も随所に盛り込みながら「技能者の祭典」として開催することになっています。

技能五輪に向けて

中島伸介さん



富山市内の工務店に勤務している中島伸介さん。今年二〇歳になります。高校の普通科を卒業後、手に職を持ちたいという気持ちからこの世界に飛び込みました。もともと物を作ることが好きでした。自分で作ったものが後々ますます残るところに魅力を感じます。まだ見習いの段階でいろいろ勉強することが多いという中島さんは、仕事で大工の技術を磨きながら週三回、市内の地域職業訓練センターに

通い、建築法規や力学などを学んでいます。技能五輪については、昨年の県内予選に建築大工の職種で出場。見事バスして十一月には千葉県で開かれた全国大会に参加しました。課題は屋根のミニチュアづくり。自分ではうまく出来たと思つたんですが、入賞者の作品と比べてみると見劣りしていました。同じくらいの年齢なのにそのレベルの高さに圧倒されました。「一本一本柱を作り、それをいかに隙間なく組み立てるかという技術を全国から集まった精鋭たちと競い、健闘したものに入賞にいたらなかった中島さん。自分よりレベルの高い人に出会うことが何とにかそれに追いつこうという気持ちを生むんですね。昨年の全国大会はそのことを知るよい機会になりました」と話します。その思いが今年の富山大会の県内予選への再挑戦となりました。夢はやっばり一流の職人になること。そのためにももっと腕を磨き、予選を突破し今度の全国大会では入賞を狙いますよ。一つの貴重な経験を経た若者の心に今大きな灯がともりました。

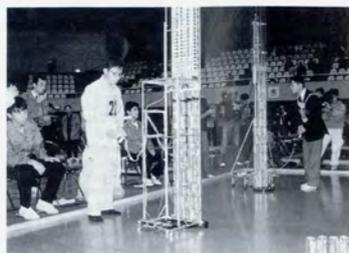


高校生ファッションショー



伝えるメッセージ手から手へ

第3回全国産業教育フェア富山大会開催



全国の職業科で学ぶ高校生たちが一堂に会し、あらゆる分野の学習成果を広く紹介する産業教育の祭典「第3回全国産業教育フェア」が四百九十六校の参加のもと十一月十八日から二十一日の四日間にわたり富山市の三会場で開催されました。

県庁前公園では、全国の農業科・水産科の生徒たちが実習生産品や加工試作品の展示・販売などを行う一校一品運動を展開。県民会館では、県内の商業科の生徒たちが全国から特産品を仕入れて販売実習を行う「雷鳥デパート」が、大勢の人々の人気を集めていました。最終日に県民会館大ホールで開かれた「高校生ファッションショー」では、家政科の生徒たちが自らモデルとなり様々な素材を使った個性豊かな作品を披露。総合体育センターでは、工業科の生徒たちの自主製作したロボットを使った「全国高等学校ロボット競技大会」が行われ、高岡工業高校がみごと全国百七校の頂点に立ちました。

職業科の高校生たちの熱いメッセージを伝えることがフェアを契機に、今後の産業教育が新たに飛躍することが期待されます。



未来を拓く人づくりをめざして

富山県未来財団発足記念「とやまの未来を語ろう」



昨年七月、富山県の未来を拓く人材の育成を目的に、置県百年記念財団が発展的に改組され(財)富山県未来財団が発足しました。それを記念し、これから期待される人間像について考える「とやまの未来を語ろう」が、十一月十三日、富山県教育文化会館で開催されました。

ステージを飾ったのは、各分野で業績を挙げ、また将来の活躍が期待される人に対し、置県百年記念財団が表彰してきた「とやま賞」受賞者の皆さん。

スペースデザイナーの岡崎忍さんによる、舞台上を生花で装飾するアートパフォーマンスで幕を開けた後、評論家の吉崎四郎さんと落語家の立川志の輔さんが「明日をひらくとやまっ子」をテーマにトークショーを展開。ユーモアを交えた軽妙な語り口で会場の笑いを誘いながら、「いい意味で、みゃあらくもん」を育てることが富山の活性化につながる」と語り合っていました。

また、財団やとやま賞のあゆみなどが紹介されたほか、高岡女子高校合唱部のコーラスや可西希代子舞蹈研究所の創作バレエがステージに彩りを添えていました。



生活の豊かさは余暇の充実から

第1回「ゆとり名人」認定



県内の余暇リーダーとして活躍してもらおうと今年度初めて募集した「ゆとり名人」に四十八人一事業所が認定されました。「ゆとり名人」には、自らゆとりを創造し、余暇時間を活用して文化、スポーツ、ボランティアなどさまざまな活動を積極的に行っている「ゆとり実践名人」二十三人、事業所・団体を対象とした「ゆとり創造名人」一事業所、余暇活動の指導者として活躍が期待される準ゆとり実践名人の「余暇リーダー」二十五人が選ばれました。

十二月四日に行われた認定式では、はじめに選考委員長が「ゆとりは人から与えられるものではなく、自分で創り出すことが大切です」とあいさつ。続いて認定証と名刺が名人のみなさんに交付されました。このほか名人の紹介や公開討論会も行われ、ゆとりと余暇について意見交換が行われました。

今後、ゆとり名人の方々は、十月に行われる生涯学習フェスティバルなど各種イベントで余暇の指導者としての活躍が期待されています。



イメージアップのさらなる飛躍をめざして

第9回富山県イメージディレクター懇談会・開催



佃 義範氏 (ツクダ社長) 高野 悦子氏 (岩波ホール総支配人) 藤子不二雄A氏 (漫画家)



中 沖 知 事 山田 允夫氏 (N響コンサルタント) 木崎さと子氏 (作家)

第九回富山県イメージディレクター懇談会が十一月三十日、東京都内で開催されました。この懇談会は、県のイメージアップ事業の推進を図るため、毎年開かれているもので、今回も県から委嘱されている富山県イメージディレクター各氏（五名）と中沖知事等が出席して活発な議論が展開されました。

主な提言内容としては、「住みやすい富山の積極的なPRを（高野）」「馬蹄投げ大会など県民参加型イベントの実施を（藤子）」などイメージアップのための施策等に関するものや、「街の活性化のために『歩こう運動』の実施を（木崎）」、「環境を意識した製品づくりで産業振興を（佃）」、「富山の県民性にもっと自信を持って（山田）」など、県政全般にわたるものまで幅広く討議されました。

県ではこれらの提言をふまえ、今後ますます富山県の魅力が全国に向けてアピールされ、郷土富山の発展につながるよう積極的に取り組んでいく予定です。

一日部長・一日庁議



県民の県政に対する理解と関心を深めるため、毎年開催している一日部長と一日庁議。今回は十一月八日と十一月十七日にそれぞれ行われました。八日は、任命された九名の一日部長の皆さんに事業説明の後、施設等を視察してもらい、十七日には知事を交えての一日庁議を開催し、県政に対する意見や提言をいただきました。その主な内容について紹介します。

◎企画県民部長 島田 彰一さん (余暇生活開発士)



県政には、生きがいづくりなど人間の内面的な部分についても県民と一緒に頑張って高めていこうという施策があることを知りました。他県ではあまり見ることのない余暇ビジョンや文化プランといった県民の意識改革をめざす施策をこれからも進めていただきたい。また、公害センターでは、排気ガスを浄化するための樹木の研究が行われているなど、名前から受ける固いイメージとは違っていました。緑の管理会社」といったような希望に満ちた名称に変えてみてはいかがでしょうか。

◎総務部長

野口 満夫さん (富山県高度情報推進会議専門委員)



県内に在住する五千人余りの外国人のために、とやま国際センターのような充実した機能を持つ施設を富山市だけでなく各地域にも設置してはどうでしょうか。また、県立大学では卒業する学生の半分が県外へ出て行くという、富山の活性化のためにも企業の研究施設

を誘致するなどの若者の受け皿づくりが必要だと感じました。その他、県庁内の書類の山を見て行政の情報処理化が必要だと思いました。各課の組織的なネットワーク化や各市町村とのネットワーク化を進めて事務の効率化をめざしていただきたいですね。

◎厚生部長 奥井 悦子さん (富山市ボランティア連絡協議会副会長)



健康診査などの受診意欲を高めるため健康増進センターの利用を県民に呼びかければ良いと思います。また「お元気ですか」という冊子は健康について大変わかりやすく書かれているので、全世帯に配布するなどもっとPRしてみたいかがでしょうか。ボランティアに従事する方のために、いつでも会合や研修ができる会館の建設や相談役である各市町村のボランティアコーディネーターの複数配属についてもぜひお願いします。

◎商工労働部長

滝 齊さん (井波彫刻協同組合理事長)



工業技術センターは素晴らしい施設になっているが、研究員の数が少ないと聞きました。

もつと施設の有効活用や人材育成を図り、民間企業等に役立てることが必要だと思えます。また、いろいろな職種の後継者不足を解消するため、伝統産業や職人の育成を図る施策を進めていただくとともに、平成六年に富山で開催される技能五輪などを契機として伝統工芸のPRにも力を入れてもらえればと思います。

◎農業水産部長

常本 幸子さん (南砺酪農組合婦人部長)



肉用牛センターで研究されているバイオテクノロジーの技術を質の高い乳牛づくりに役立てていただきたい。また自主流通米の中に米の直接販売のシステムを設けることも考慮してもらえればと思えました。昨年の冷夏のような異常気象がいつ来るかわからない状況下では安定した収穫が望める堆肥による土作りが大切になってくるのでこのことについてもよろしくお願います。

◎土木部長

原 英高さん (富山県総合運動公園きらめき茶屋施設設計者)

これからの施設等の建設については、例えば河川改修などの場合、人々が水と親しめるようなデザインも重視するなど、ソフト面に十分労力をつぎ込むことが重要な課題になってきていると感じました。また、豊かな環境をつくるプロセスを評

◎農地林務部長

大江 進さん (富山県林業研究グループ協議会長)



林業に従事する人が夢をもてるように、また労働環境の改善などの観点からも担い手の確保や育成を積極的に進めていただきたい。土地改良事業の地元負担については、財政的に弱い地域も考慮してバランスよく事業ができるよう地元負担の軽減を図るようお願いいたします。また県庁には「農」という字がつく部署が二つありますが、統合を検討してもよいのではないかとお願いました。

◎企業局長

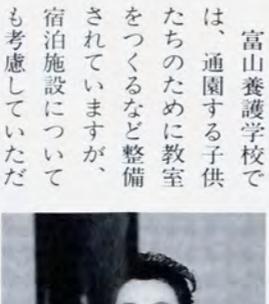
堀野 妙子さん (氷見市連合婦人会副会長)

和田川水道管理所で国が実施する水質検査基準が二十六項目から四十六項目となると聞



◎教育長

笹岡 三恵子さん (富山県PTA連合会副会長)



富山養護学校では、通園する子供たちのために教室をつくるなど整備されていますが、宿泊施設についても考慮していただきたいですね。また、教育と福祉の接点についてどこまで関わるのかという問題が出てきているのでよろしくお願いたします。生涯学習時代に入り、これから全国規模の大会が富山県で開催されますが、それに伴う施設などはもちろん県民を内面から盛り立てていくようなPRも大切だと思います。

◎中沖知事



すばらしいご意見、ご提言ありがとうございました。今後十分に検討させていただきます。できるものから実行してまいります。

(注)一日部長の提言等に対する知事の発言は紙面の都合上割愛いたしました。

● 冬の心像 ●

瞳を閉じて 心の奥底から
記憶の断片を拾い上げる
その瞬間、幼い日の僕がそこに
首筋を寒風が吹き抜けるなか
不器用な指先で凧を操る
一途な思いの少年がひとり
せめて今日だけは童心にかえろう
何でも夢中になれた あの頃のように



撮影／池端 滋

人と車が調和した交通社会の体験ゾーン

交通安全博物館

レポーター…竹内 祐子(ミス織姫)

今日では、自動車や自転車、オートバイなどの交通手段は、私たちが日常生活を送るうえで、切っても切り離せないものになっています。このような交通社会の中で、事故をなくすためには、一人ひとりが交通ルールを守っていかねばなりません。そこで私は、楽しみながら交通安全を学び体験することができるといふ交通安全博物館にきました。



▲交通安全博物館

「セーフティ愛ランド」という親しみやすい愛称がついているこの博物館には、一階と二階合わせて三十近くの展示コーナーがあり、それぞれが「知る・学ぶ・体験する・考える」コーナーになっています。さっそく中を案内していただきました。一階は「音と映像による交通の流れ」がテーマ。

▲「安全運転ゲーム」では、慎重に運転していたのですが…



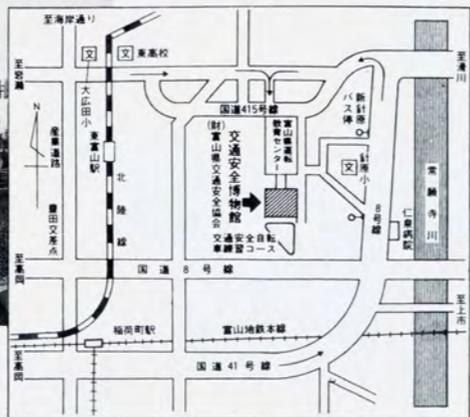
▲手さげのちょうちょうが光っているのがわかりますか？「反射材コーナー」でその効果を体験

まず手始めに体験したのは「自転車の安全な乗り方」コーナー。画面に映る街の中で道路の状況や標識にあわせて自転車に乗るものです。日頃乗り慣れている自転車なら大丈夫と思いがちなものの、ペダルをこぎ、移り変わる画面を見ながら、右手で方向指示を出すのはなかなか難しいものでした。次に案内されたのは、この博物館で

か、反射材を着用した場合にどれだけ見やすくなるのかなどを実際に自分の目で体験できるようにになっています。私もやってみました。いかに反射材を身につけることが大事かということを知ることができました。ドライバーが歩行者の気持ちになることは当然ですが、歩行者もドライバーの身になって考えることが大切だと感じました。



そのほかにも、交通安全を学ぶための絵本から専門書まで取り揃えた「図書コーナー」や雪国の富山にちなんで「雪国の交通のうっかりかわり」、「富山県の雪と交通」といったパネル展示や冬用のスタッドレスタイヤなどさまざまなタイヤを展示している「雪国のタイヤ」などのコーナーがあり、運転歴の浅い私にはなるほどと思うばかりで、とても勉強になりました。



最近では暖冬のため、雪が少なくなったとはいえ、やはり冬期が一番事故が増えるそうです。免許の更新は三年ごとですが、その合間にここを訪れて、家族みんなで楽しく交通ルールやマナーを学んでみてはいかがでしょうか。そうすれば交通事故の無い富山県に少しずつ近づいていくような気がします。



▲「自転車の安全な乗り方」で右折中



▶中央にあるのは人気の高い「交通安全パソコンゲーム」

と、16ミリ映画が上映され五十名程度が収容できる「ミニシアター」があります。これには、人気アニメ「ドラゴンボール」が登場するので子どもたちには大人気のことでした。また、研修室では特別展示として、反射材の効果をさまざまな展示を行っています。ここでは暗闇の中で歩行者が通常どのように見えるの



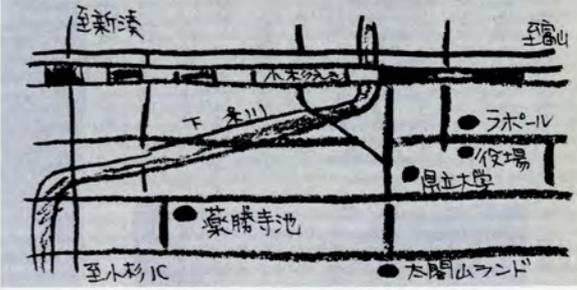
「わあー大きい、でもこのスパイクタイヤはもう使えないんですよ!!」



▲隣接した「自転車練習コース」では、無料で自転車を練習できます。(12/1~3/31は休み)

F U R U S A T O
**ふるさと
 みてある記**
 ●小杉町●
 M I T E A R U K I

■小杉町の概要 人口 31,140人 (11月1日現在、
 面積 41.22km² (県人口統計調査より))
 太閤山ニュータウンの建設により人口が急増。また、富
 山テクノポリスの頭脳を担う研究機関や富山県立大学など
 が立地している。
 8月に行われる小杉みこしまつりは、手づくりによる創
 作みこし等、百基余りが町内を練り歩く。



◀小杉町文化ホール「ラポール」

子供たちの澄んだ歌声が
 こだまする



ラポールコーラス

音楽のまちを目指す小杉町に昨年九月にオープンした音楽専用の文化ホール「ラポール」。ここでは、子供たちが主役のコーラスグループが活動している。「音楽好きの子供たちが集まってできたんです」とラポールのスタッフの寺岡さん。コーラスの結成は一昨年の十二月。メンバー

は、小学生が五十人、中学・高校生が四十人ぐらいい。最初は少なかったそうだが口コミで人数が増えていったそうだ。「音響効果抜群のこのホールで練習するのがとても楽しいですよ」歌い方もみるみる上達し、自信もついてきたという。昨年十月に開かれたコンサートの評判も上々で、今後は、アンサンブル金沢などのプロの楽団や県内のアマチュア音楽家などの競演もしていくそうである。「このグループの子供たちが将来、町の音楽活動の中心となって活躍してくれることを期待しています」このコーラスグループは、澄んだ歌声を響かせながら、ラポールを中心とした音楽の輪を町中に広げていくことだろう。

窯作りと陶芸
 どっちが本業？

小杉焼三ヶ窯 棚田一雄さん



▲棚田さんの作品



▲本業の窯制作

「陶芸を教えるのはなかなか難しいですが、自分の勉強にもなりますね」と語るのは自宅の窯で小杉焼を制作して十七年になるという棚田さん。春から秋の間は、高齢者向けの陶芸教室で講師も務めている。棚田さんが陶芸を始めたのは五十歳になってから。本業はレンガを積んでかまどなどを築造する職人である。陶器を焼く穴窯や登窯も造ることが出来る数少ない人である。「陶芸家の方から窯の制作を依頼されるようになった時に、自分で実際に焼いてみなければ窯は作れないと思ったのが最初でした。でも誰かに習ったということはありません」県内の多くの陶芸家の窯を制作した時に、陶芸について多くの話を聞いたのを参考に、独学で様々な研究を続けてきたという。茶の間や廊下の棚には制作した茶碗や皿などがぎっしりと並べられている。



人の創作意欲はさらに大きく膨らんでいるようだ。

「最近では、窯変に凝ってますね」通常は緑色となる小杉焼が、炎や顔料の具合いで紫色に変わったり味わいのある模様となるのだ。棚田さ

秒針の音が楽しく響く

時計収集家 高木幹雄さん



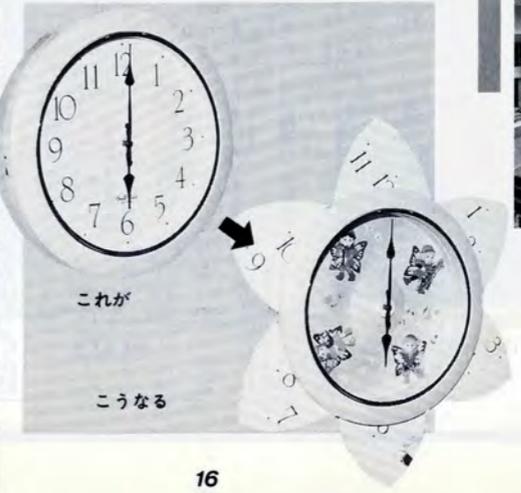
◀高木幹雄さん

案内された部屋は、時計でいっぱいだった。飾り時計、お天気時計、からくり時計、超正確な最新式の電波時計……。秒針の音が妙にリズムカルに響き、見ているだけで楽しくなってくる。「全部で四百個以上あると思います」と語るのは、中太閤山の高



木幹雄さん。高木さんが時計収集を始めたのは昭和四十四年のこと。アポロ宇宙船の飛行士が使っていたのと同じ音叉時計がテレビ番組のプレゼントで当たり、それが職場で注目を集めたことが病みつきになったきっかけだ。そう。日本ですべてのデジタル時計も、生命保険を解約して買いましたね」街角でも気に入った時計を見つけると、頼んで譲ってもらったこともあるという。今では、時計屋さんの方が新製品の情報を持ってきてくれるそうだ。常に新しいものや一風変わったものを捜しているだけあって高木さんが集めた時計は、見た目は普通でも何か特徴や仕掛が隠されている。「面白い時計を見た人は遠慮なく来てください」と明るく笑いながら話す高木さん。その後ろでは、壁の時計達が、自慢のからくりを動かして嬉しそうに六時を告げていた。

◀時計で埋めつくされた部屋



これが
 こうなる



雪害のない みちづくりを めざして

雪を克服し、冬期の円滑な交通を確保するために、道路の除排雪は大変重要です。近年は暖冬続きといえども油断は禁物。過去の五六豪雪などの教訓とこれまで蓄積してきた除排雪のノウハウを生かして、県では道路除雪対策本部を開設して今冬も路面管理の一層の充実に努めることとしています。

今冬の車道除雪区間は 2196.1km

県では除雪路線が適切なネットワークを形成できるように国や市町村の道路管理者と連携をとりあいながら実施します。今冬は県管理道路延長の九〇%にあたる二九六.二kmを除雪することとしています。この際、バス路線等の重要路線

の優先的確保に努めるとともに、交差点除雪、運搬排雪や凍結防止剤散布の一層の強化を図ります。特に主要な交差点については、常に迅速な対応ができるよう別動隊を編成し、二〇一箇所の交差点を対象にモデル的な除排雪を実施します。

歩道除雪の推進

通園・通学路、歩行者の多い駅、主要なバス停のほか、公共施設等へ通じる歩道などについて優先的に実施します。今冬は、安全な歩行者空間を確保するため、歩道設置延べ延長の五〇・五%にあたる四八二.四km（昨年度より二二.三km増）につき、地域住民の皆さんの協力を得ながら実施します。

除雪機械の整備

除排雪の水準向上のためには、除雪機械の整備が欠かせません。除雪機械のうち県保有機械については、今年度一台の増強を行い、総台数二九五台として整備の強化を図っています。県では、民間で保有しないロータリー除雪車、除雪トラック、大型グレーダを中心に整備を進めており、拡幅除雪、運搬排雪や圧雪除去などにもきめ細かく対応できるよう計画しています。特に圧雪除去に有力な大型グレーダを昨年度に引き続き三台整備し、いずれも雪を横にこぼさ

ないようにするシャッターブレードを装着することで、交差点除雪が効率的に行えるように配慮しています。その他にも凍結防止剤散布車を四台増強し、スリップによる交通事故防止や交通渋滞の緩和に努めています。民間保有機械については、常時四二九台を借り上げるほか、豪雪時に備えてさらに六〇三台を確保して万全の体制を図っています。

雪害対策施設の整備

市街地、人家密集地、橋梁、交差点等の機械除排雪のネックになっている箇所について、消雪装置の整備を進めています。今冬は三八.六km整備し、総延長五四三.四kmでその効力を発揮してくれます。住民参加の除排雪を推進するための流雪溝については、〇.六kmを延長し、総延長七一.五kmが整備されています。また、スノージエッド、柵等の雪崩対策施設を整備し、安全な冬期交通の確保に努めています。

除雪情報システムの整備

気象情報収集の強化を図るため、自動積雪センサーを県内二二箇所に設置して円滑な除排雪出動に活用しています。また、凍結対策としては、路面凍結センサーを昨年度より八箇所増の一三箇所を設置し、路面監視の強化を図っています。さらに県民会館等に設置してある「ハローネットとやま」などを用いて県民の皆さんに除雪状況や路面凍結状況などの情報提供を行えるように努めています。

県民の皆さんへのお願い

このように県では道路の除排雪体制の強化に努めていますが、除雪を円滑に進めるためには、皆さんのご協力が必要です。

- 1. 路上駐停車の自粛**
ただでさえ狭い雪道です。除雪に支障となる路上駐停車は絶対にやめるようお願いします。
- 2. 自宅前道路の除排雪活動**
歩道はその地域の生活空間です。自宅前歩道や除雪車が入りにくいところ、学校周辺等、皆さんの積極的なご協力をお願いします。
- 3. 地域ぐるみの除排雪活動**
町内会等の地域ごとに一斉除排雪日を設けて地域ぐるみの共同除排雪を積極的に推進しましょう。
- 4. 路上への投雪自粛**
屋根雪等の路上への投雪は自粛してください。また、町内会などで一斉に雪おろしをする場合は、あらかじめ、市町村役場や最寄りの土木事務所へご連絡ください。
- 5. 流雪溝等への計画的投雪**
流雪溝や水路等への無秩序な投雪は水があふれ、トラブルのもとになります。地区相互で話し合うなど投雪を計画的に行いましょう。

道路除雪の問い合わせ

除排雪作業のために通行規制や通行止めを行うことがあります。道路情報についてはテレビやラジオで随時お知らせします。さらに詳しくは道路交通情報センター（☎0764・32・2223）へお問い合わせください。また、県の除雪する道路について問題点等があれば、所管の土木事務所までご連絡ください。



「110番あなたを守るホットライン」

1月10日は、「110番の日」です。平成5年10月末までの統計により、県民の約46人に1人が110番を利用しています。

110番は、事件・事故を素早く警察に通報し、迅速に解決するための緊急電話です。110番の有効な活用と正しい利用にご協力ください。

「110番のしくみ」

110番電話は、富山県内どの地区からかけても、警察本部の通信指令室につながります。あなたの110番内容を係員が聞きながら、同時にパトカーに現場急行の指令をします。

110番通報される場合は、慌てず、落ち着いて目標となる地名や建物などを正確に教えてください。

「110番のポイント」

- 一、あなたからの110番には、次の要領で係員がお尋ねしますので協力ください。
- 一、何がありましたか
「喧嘩、泥棒、交通事故」などと教えてください。
- 二、いつですか
「何時何分ごろ、何分位前」などとなるべく正確に教えてください。
- 三、場所はどこですか
詳しい「地名、番地と目標の建物」などを教えてください。
- 四、ケガ人はありますか
ケガの程度、救急車の必要の有無などを簡潔に話してください。

五、犯人を見ましたか

犯人の服装、特徴、車のナンバー、逃げた方向など見たままに教えてください。

六、あなたはどなたですか
あなたのご住所、お名前、電話番号を教えてください。

「やめよう！いたずら電話」

近年、子供さんなどの「いたずら110番」が増加している現状にあります。事件事故で緊急に通報が必要な方には、通報回線が話中となるので大変迷惑となります。

「不用不急な110番」は絶対やめましょう。

「相談110番」って何？

警察本部の総合相談室では、警察に対する「苦情、要望、悩みごと」や「冤せい剤、暴力団、悪徳商法」などの内容を問わず相談を受け付けています。

*プッシュホン式電話の場合 #9110
*ダイヤル式電話の場合 #9110
0764-4210110
の相談電話をご利用ください。

『事件事故は110番
相談は#9110』



中小企業倒産防止共済制度の加入促進について

中小企業経営者の皆さん。取引先事業者の倒産の影響をうけて、連鎖倒産する等の事態を防止し、経営の安定を図るために、「中小企業倒産防止共済制度」に加入しませんか。

富山県、商工会議所、中小企業事業団では、現在、特別加入促進運動を実施しております。なお、詳しいことについては、最寄りの商工会議所、商工会へお尋ねください。

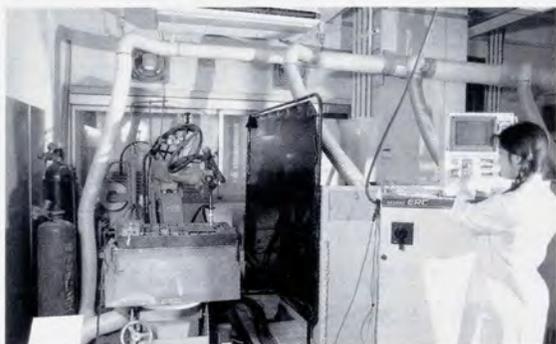
消雪用地下水の合理的利用について

地下水は、涵養と利用がバランス良く行われると永久的に利用できる県民共有の貴重な資源です。しかしながら、道路や駐車場の消雪設備が近年急速に普及し、冬期間には一斉に稼動するため、大幅な地下水位の低下を招く恐れがあります。このため、消雪設備の稼動にあたっては次の事項に十分留意のうえ、地下水の合理的利用及び節水に努めていただきますようお願いいたします。

- 一、消雪設備の管理者を定め、降雪時以外は無駄な散水は行わないこと。
- 二、降雪検知器を取付けていない消雪設備については、できるだけ取付けすること。
- 三、降雪検知器の維持管理を徹底すること。

問合せ 県庁公害対策課又は最寄りの市町村 公害担当課まで

平成6年度 富山県立大学入学者選抜



工学部

- 募集人員
前期試験 機械システム工学科……………24名
電子情報工学科……………24名
後期試験 機械システム工学科……………40名
電子情報工学科……………40名

○出願期間(前期・後期試験)
平成6年1月24日(月)～2月1日(火)

○試験日
前期試験 平成6年2月25日(金)
後期試験 平成6年3月12日(土)

- 試験科目
●大学入試センター試験
国語・数学・理科・外国語
●個別学力検査
数学・英語

○合格発表
前期試験 平成6年3月9日(水)
後期試験 平成6年3月22日(火)

短期大学部

- 募集人員
農業技術学科生物生産専攻……………25名
農業土木専攻……………20名
環境工学科……………20名

○出願期間 平成6年1月28日(金)～2月4日(金)
○試験日 平成6年2月28日(月)
○試験科目 数学・理科・英語
○合格発表 平成6年3月9日(水)

問合せ 入学試験実施本部
☎0766-56-7500

◎保母の専門養成施設です。平成6年度 富山県立保育専門学校学生募集

- 試験科目 国語・英語・リズム運動・面接
- 試験日 平成6年2月2日(水)・3日(木)
- 願書受付 平成6年1月10日(月)から20日(木)まで
問合せ・願書提出先
〒933 高岡市中川上町5番1
富山県立保育専門学校 ☎0766-22-3785

第40回 文化財防火デー

1月26日は、「文化財防火デー」です。昭和24年に法隆寺の金堂壁画が焼損した日にあたり、文化庁・消防庁はこの日を中心に文化財を火災・震災その他の災害から守るため、全国的に防火訓練等の行事や広報活動を行い国民の理解を図ります。

富山県でも、関係機関、文化財関係者、文化財周辺地域住民との連携をとり、地域ぐるみ、住民ぐるみの文化財愛護思想と防災意識の高揚に努めます。貴重な国民的財産である文化財を災害から守り、未来へと伝えていかなければならないという気持ちを持ちたいものです。



▶県・彫刻 木造観世音ほきつ立像

平成8年開催 第11回 国民文化祭とやま96

「文化の国体」とも言われている国民文化祭は、毎年、各県持回りで開催されています。平成8年には、富山県で開催されます。

期間 平成8年9月28日(土)～10月7日(月)

合言葉 おいしい・楽しい・美しい
開催地 富山市をはじめとする県内各市町村のほか、船舶を利用した富山湾上など。

- 11月13日 富山県未来財団発足記念事業「とやまの未来を語ろう」
- 11月16日 平成5年度富山県建設優良工事表彰式
- 11月17日 第1回富山県全県域下水道化構想推進委員会1日庁議
- 11月18日 第3回全国産業教育フェア(～21日)「ゆ・と・りの日」街頭キャンペーン
- 11月19日 財富山技術開発財団設立10周年記念式典

(財)富山技術開発財団設立10周年記念式典



- 11月24日 いきいきとやまパフォーラム



- 11月25日 第44回勤労者美術展(～28日)
- 11月29日 ゆとり創造シンポジウム



- 11月30日 第9回イメージディレクター懇談会
- 12月1日 デザインウエーブ'93(～5日)



- 12月2日 花と緑の銀行設立20周年記念式典
- 12月3日 12月定例県議会(～16日)
- 12月4日 エイズシンポジウムin富山
- ゆとり名人認定式
- 12月9日 「障害者の日」キャラバンキャンペーン出発式

富山県高岡文化ホール

第6回 新春フェスティバル

創造的かつ話題性のある舞台芸術を披露する舞台公演をはじめ、いけばな・フラワーデザイン展・書道展、茶会など、多彩な内容となっています。

- 舞台公演(大ホール)1月15日(土)午後1時開演 入場料1,000円
- 展示部門(展示ホール・ギャラリー)1月15日(土)16日(日) 午前9時～午後5時
- お茶会(和室)1月15日(土) 午前10時～午後5時 お茶券500円

県民カレッジ〔テレビ放送講座〕

とやまに祭りありて

放送 1月29日～3月19日(8回)
毎週土曜日 10時30分～11時
北日本放送テレビ

スクーリング
第1回 1月22日
第2回 3月19日
会場 県民会館304号室(1,2回とも)

申込み テキスト代1,200円を添えて、県民カレッジへ(直接または郵送可)
〒930 富山市舟橋北町7の1

平成6年
2月街頭献血日程

日 曜	献 血 場 所	時 間
6 日	福岡町冬のふれあい市会場	10:00～15:00
8 火	大門町総合会館前	9:00～12:00
8 火	大島町役場前	13:00～16:00
12 土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
19 土	富山西武デパート前	10:00～16:00
20 日	富山西武デパート前	10:00～16:00
21 月	福野町役場前	12:30～15:30

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。
◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。
富山県赤十字血液センター 富山市飯野26-1 ☎(0764)51-5555

あなたの冬は咲きますか

花と緑の冬のフェスティバル

(第4回)

冬の生活の中に、花と緑を取り入れ、明るく豊かで安らぎのあるライフスタイルを提案するため、第4回花と緑の冬のフェスティバルを開催します。

日時 平成6年2月11日(金)から13日(日)まで
場所 富山県民会館(1階ロビー、A・B・Cギャラリー、地下展示場、国際会議場)

内容

- バイオで生まれたピンクの鉄砲ゆり展
- コスタリカの花の展示
- フラワーアレンジメントの展示と実演
- 押し花の作品展示
- 花のコンサート、プランター作り実演会
- とやま花と緑の写真コンクール優秀作品の展示 など

問合せ 財花と緑の銀行
〒939-27 婦中町上轡田42
☎0764-66-2425

雪美のひろば
スノーアートとやま
'94開催

1月17日(月)
～
2月28日(月)

冬の県庁前公園を彩る、「雪美のひろば・スノーアートとやま」も今年で5回目となります。今回も約一か月半の間開催し、冬の富山を楽しく演出しますので、ぜひお立ち寄りください。

問い合わせ 県庁都市計画課
☎0764-31-4111 (内線4176)

立山博物館
イベント

**「タロの川」を語る
シンポジウム**

日時 平成6年2月19日(土) 午後2時～4時
場所 富山県国際文化センター(オルビス)(マンエとやま7階)
テーマ 「アジアの自然観と日本の山岳思想」
パネラー(予定)

佐伯 彰一(評論家・立山博物館名誉館長)
杉浦 康平(グラフィックデザイナー・立山博物館ポスター制作者)
林 雅彦(明治大学教授)
六角 鬼丈(東京芸術大学教授・立山博物館野外施設設計者)

立山博物館では、左記の要領でシンポジウムを開催します。このシンポジウムは、立山信仰の背景をなす「山」に対する自然観を時系列的に、また空間的な広がりの中で捉えていこうとするものです。皆さんの御来場をお待ちしています。

なお、お問い合わせは立山町芦峯寺93-1 立山博物館 ☎0764-81-1216まで御連絡ください。

立山博物館臨時開館のお知らせ

臨時開館日
平成6年1月16日(日)
2月12日(土)

立山博物館では、原則として月曜日及び休日(国民の休日)の翌日を休館日としておりますが、「成人の日」の翌日(日曜日)、「建国記念の日」の翌日(日曜日)に当るので、この日を臨時開館日とすることにいたしました。皆様のご来館をお待ちしております。

表紙	撮影/滝川邦彦(日本写真家協会会員)
表2	エッセイ/太田 久夫
P 1	知事年頭の辞
P 2	特集/今年を飾る3大イベント クローズアップ
P 6	①とやまの未来を語ろう
	②第3回全国産業教育フェア
	③第9回イメージディレクター懇談会
P 12	④ゆとり名人認定式
	P I N U P T O Y A M A
P 14	撮影/池端 滋
P 16	とやま遊学感/交通安全博物館
P 18	ふるさとみてある記/小杉町
P 20	雪害のないみちづくり
	県からのお知らせ



富山市内の北陸盲導犬訓練所に所属している警察犬訓練士の五嶋寛子さんと警察犬「ハルト」号。成年にちなんで、新年号に登場していただきました。盲導犬の映画をみたのがきっかけでこの仕事に就いたという二十歳の五嶋さんは、肌寒い風の中元氣よく跳ね回るハルト号をやさしく見つめます。晴れ渡った冬の日、呉羽山でのツ―ショットでした。

みなさんの相談窓口

交通事故については
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111内4400
相談110番
家庭問題・悪質商法・寛せし刑など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110
シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14
社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

消費生活については
消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は)
☎(0764)32-9233
(金融相談は)
☎(0764)33-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

県政については
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民相談電話)
高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411代
魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311代
砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151代

物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)

県からのホットニュース 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

<p>テレビ広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45 「志の輔のふるさとトーク」 ●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」 ●北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30 「こんにちは富山県です」 <p>1/9 楽しい冬の観光 1/16 ゆとり、みつけました 1/23 がんばれ企業スポーツ 1/30 私たちのふるさとづくり㊟</p>	<p>ラジオ広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●FMとやま 「ふれあいホットライン」 <p>県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。 毎週月~金曜日 AM9:50~9:55</p>	<p>新聞広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日 <p>毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」</p>
---	--	---

今話題の魚

新顔の魚たち

海にも異変

「ピア」の来訪——この冬に期待/と本誌・十一月号に掲載した後、次々この類の珍魚が水揚げされている。富山湾では、南方魚は冬獲れる——が、近年それが一段と顕著になる兆しがある。昨年の一年間を振り返ってみると、県内は、氷点下の「冬日」が半年の半分以下の二十七日と最少を記録し、暖冬であった。逆に、夏は低温・日照不足に長雨で、米作の被害は大きく、作況指数は八十七と発表された。さらに、能登沖地震があり、台風も統計開始以来の最多上陸回数となった。だが、年末はおだやかな日が多く、明け今年も、八年連続の暖冬になりそうである。

これらの気象は、海況——漁獲に影響を及ぼし、時期はずれのほたるい・かやまぐろが水揚げされる。

とくに、回遊南方魚・ピア類は、約二十年周期(と考えられる)の当り年?である。ここでいうピア類とは「シマガツオ科」に属する魚に加えて、形・色のよく似た他科の魚をふくめての通称である。リュウグウノヒメ・ペンテンウオ・マンザイウオ……ハナピラウオなど稀種ぞろいの珍魚たちである。近年、数種の新種も発表され、その分類は学界でも検討中である。

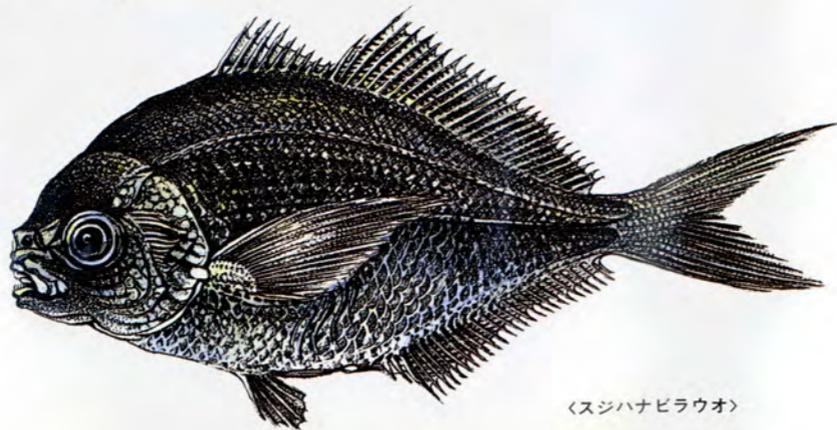
が、今年こそ永年の疑問を解決するよい年にしたと意気込んでいた。そのために自分自身で出かけ、また、広く依頼もしている。変ったピアを持ちこんでくれる船頭、「探しているのはこれ?」と言ってくれた板前、「前に見たことがある」と、たびたび、いろいろと届けてくれるH食堂の主人……これらの方々の好意で、忙しくも楽しい。「シマガツオ科」と血縁はうすいが、形も色も暗色でよく似ている「エボシダイ科」の次の魚なども頂いた。

シマハナピラウオ……今回、日本海で初めて獲れ、成魚としては日本で初の記録でもある。

「シマガツオ科」と近縁だが、形も色も異なる「アジ科」でさんご礁域性の魚もいた。○ナンヨウカイワリ ○イトヒラアジ などなど、拙著・「日本海魚類図鑑」に追加すべき新顔の魚たちが、勢ぞろいしてきた。《海況の変化》とあわせて、今まで見捨てられてきた魚・知っているつもりでいた魚の「見直しの効果」だろう。富山湾の魚種は、にわかになぎやかになってきた。



〈シマハナピラウオ〉



〈スジハナピラウオ〉

編集後記

のんびり屋の私らしく、特集では、締め切り間際に三つの取材を同日に行うという強行日程になってしまいました。仕事が終わってからずっと待たせてくれた中島さん、舞台の写真をたくさん提供してくれた和田さん、練習中にフラッシュ撮影して迷惑をかけたしまった川井さんはじめ龍谷富山の陸上部の皆さん、本当にありがとうございます。今年三大大会での活躍を期待しています。(K)

テレビで「ボケの予防」についてやっていた。それによると、余暇活動が不活発だと十四倍も痴呆になる確率が高いという。休日に何もせずゴロゴロしているほうが多くなってきた私は、「ゆとり名人」の方々の余暇過ごし方を参考に、何かに取り組もうと考えているところである。(A)

A HAPPY NEW YEAR



冬の血液不足を救うのは、
あなたの
暖かい協力です。



これからのニーズに応えます。
成分献血と、400ml献血をよろしくお願いします。

健康、だから献血



日本赤十字社

はたちの献血サポーター
1-0764-31-4111

ひとつのやさしさがみんなを包む

「いよいよ大人だね」と祝福されて迎えた今年の成人式。
大きな希望を胸に社会に向けて第一歩を踏み出すあなた。
20歳の記念に始めた「愛の献血」が
新しい自分と社会を結ぶ一つの懸け橋になるでしょう。

(生命を結ぶ大切なきずな 成分献血)

♥献血は、成分献血、400ml献血、200ml献血の三つの献血方法から選ぶことができます。

なかでも成分献血は血液中の血しょうや血小板だけを献血していただく新しい方法で、現在、医療で最も必要とされています。

◎お問い合わせは、赤十字血液センター(☎0764・41・5733)
県庁薬務課(☎0764・31・4111内線3583)、
または市町村の担当課へ。